

地域とともにある

勢いのある学校

No. 10(R2. 7. 14発行)文責 校長 福田雅也

高き志【こころざし】

「リトルミイ」の言葉

私が小学生のころよく見ていたアニメに「ムーミン」があります。「♪ねえムーミン こっち向いて♪」で始まる主題歌と共に、知らない方はいらっしやらないと思います。フィンランドの作家トーベ・ヤンソンの原作で、アニメは日本制作ですが、原作は全世界で親しまれています。（原画デザインは弟のラルス・ヤンソンが担当）小学生時代の私が、当時のテレビ番組で一番楽しみにしていたのは、「ウルトラマン」等の特撮ものや「巨人の星」や「タイガーマスク」などのスポ根アニメでした。しかし、「ムーミン」や「みなしごハッチ」「ひょっこりひょうたん島」なども楽しみにしていたのを覚えています。（テレビばかり見ていた小学生だったことがばれてしまいます。）

「ムーミン」は、個性の強い様々な人物が登場することが魅力の一つだったように思います。主人公の「ムーミン」以外に、ガールフレンドの「ノンノン」（原作では「スノークのお嬢さん」）や「スナフキン」、「スニフ」、「ニョロニョロ」などが有名でしょうか。もちろん、「ムーミンパパ」「ムーミンママ」もそうでしょう。そんな中に、「リトルミイ」という登場人物がいたのをご存知でしょうか。「リトルミイ」は怒りっぽく、口は荒っぽいのですが、前向きで、親切なところもある女の子です。そして、勇敢で怖いもの知らずでもあります。

迷わないことが強さじゃなくて、 泣かないことが強さじゃなくて、 どんなことがあっても、 前をね。	怖がらないことが強さじゃなくて、 本当の強さって、 前をむけることですよ。
---	---

この言葉は、その「リトルミイ」が物語の中で発している言葉です。当時は、あまり深く考えて見ていたわけではありませんでしたが、「ムーミン」の中で登場人物が発する言葉には、かなり心に沁み入るものがあるようです。「リトルミイ」のキャラクターが良く伝わるこの言葉もその一つでしょう。

この他にも「リトルミイ」は考えさせられる言葉をたくさん発しています。アニメとはいえ、原作の質の高さが伝わってくる言葉の数々です。下に少し紹介します。

『何とかなる。』それは、やることをちゃんとやってる人のせりふ。」 「逆よ、全く逆よ。自分と向き合うにはひとりになるんじゃないわ。いろんな人と関わり合うのよ。お友達とおままとしろって言うてるんじゃないの。自分の知らない、自分を知らない人たちと関わり合うのよ。見えてくるわよ、本当の自分が。」 「見てるわよ、あなたがしていること。あのね、神様じゃないわよ。もうひとりのあなたがよ。もうひとりのあなたがあなたを見ているのよ。見放されないようにね。嫌われないようにね。」

アニメとはいえ、大人も心を動かされるような作品や言葉は、きっと子どもの感情も豊かにできるものなのだと思います。自分が親しみを感しているキャラクターが発する言葉は、子どもにとって大きな影響となるのではないのでしょうか。「今の子どもに『ムーミン』を見せましょう」とは言いませんが、子どもの情操を豊かにできるものを見極め、与えることができるのは、私たち大人であることに間違いはないようです。